

# データヘルス計画書（健保組合共通様式）

計画策定日：平成27年2月17日

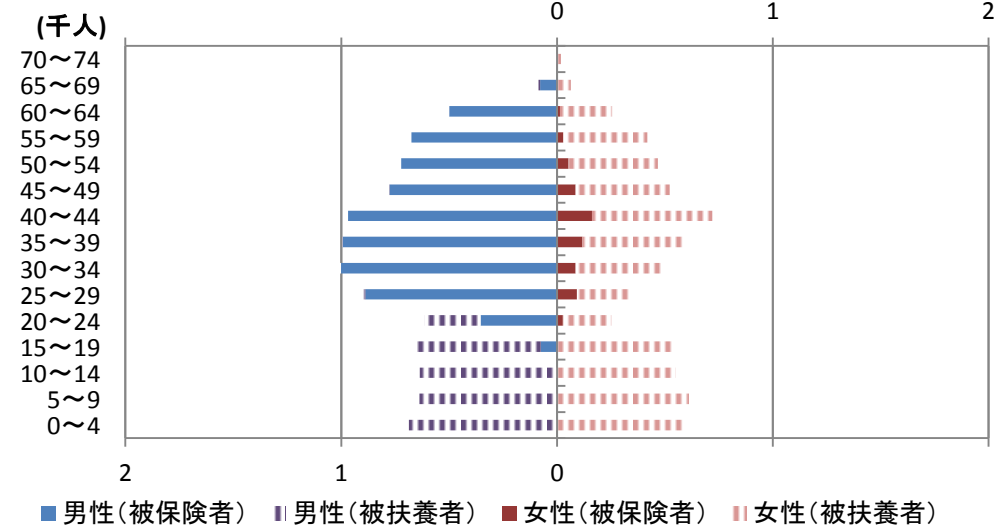
最終更新日：平成27年3月31日

住友ゴム工業健康保険組合

当組合が事業主と協働して生活習慣病のハイリスク者に対して保健指導を実施する際、保健指導対象者に関する生活習慣病の医療機関への受診の有無の記録を事業主の医療従事者に提供する場合がありますが、当組合への申し出により、事業主への情報提供を拒否することも可能です。個人情報については、当組合の「個人情報保護に関する基本方針」(当組合ホームページ参照)を遵守して取扱います。

## STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	73054
組合名称	住友ゴム工業健康保険組合
形態	単一
被保険者数（平成27年度予算 注） * 特例退職被保険者を除く。	7,840名 男性91.2%（平均年齢41.4歳）* 女性8.8%（平均年齢39.6歳）*
特例退職被保険者数	0名
加入者数（平成27年度予算 注）	15,969名
適用事業所数	5ヵ所
対象となる拠点数	23ヵ所
保険料率（平成27年度 注）*調整を含む。	88%
	全体 被保険者 被扶養者
特定健康診査実施率（平成25年度）	72.9% 96.5% 28.4%
特定保健指導実施率（平成25年度）	12.5% 12.9% 0.0%



(注) 記載要領参照

- ・タイヤ、産業品、ゴルフ製品、テニス製品を製造販売メーカーである。
- ・被保険者の女性比率は、8.8%と少ない。
- ・健保には、医療従事者は、不在。

		健康保険組合と事業主側の医療専門職 (平成27年3月末見込み)	
		常勤	非常勤
健保組合	顧問医	0	0
	保健師等	0	0
事業主	産業医	1	7
	保健師等	5	0

保健事業費	予算額（千円） (平成27年度 注)	被保険者一人当たり金額 (円)
	特定健康診査事業費	17,300
特定保健指導事業費	5,000	638
保健指導宣伝費	10,190	1,300
疾病予防費	43,305	5,524
体育奨励費	1,000	128
直営保養所費	24,640	3,143
その他	6,302	804
小計 …a	107,737	13,742
経常支出合計（千円） …b	4,115,942	
a/b×100（%）	2.62	

## STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

健保組合の取組													
予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
特定健康診査事業	1	特定健診	【目的】被扶養者の生活習慣病の予防 【概要】4月に対象者全員に受診案内と受診券を送付	被扶養者	全て	男女	40 ~ 74	全員	7,000	(26年度)受診者4171名(被保険者3683名、被扶養者488名)/対象者5902名(被保険者3868名、被扶養者2034名)受診率70.5%(被保険者95.0%、被扶養者23.8%)	対象者全員への受診券送付及び支払基金決済代行による本人負担軽減	被扶養者の受診率が低い。受診意識の低さ。	3
特定保健指導事業	3	特定保健指導	【目的】特定保健指導によるメタボリックシンドローム対象者の減少 【概要】被保険者は、産業医と相談し、対象者を指導。被扶養者は、希望者	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ~ 74	基準 該当者	1,600	(H26年度)指導対象者931名(被保険者895名、被扶養者36名) 特定保健指導253名(被保険者253名、被扶養者0名)指導実施率27.2%(被保険者28.3%、被扶養者0名)	26年度より、被保険者の保健指導対象者に、原則義務化し、実施開始。	指導実施率が、低い。被扶養者には、全くできていない。	1
保健指導宣伝	4	機関紙の発行	【目的】健康保険に関する情報及び健康意識の醸成 【概要】機関紙の発行(年2回)	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	3,024	年2回発行	春は、1回は、自宅郵送、夏は、被保険者に配布し、加入者全員が見れるように工夫。		4
	4	乳幼児保健指導	【目的】出産された方のための乳幼児指導 【概要】出産された方に、育児指導書を配布	被保険者 被扶養者	全て	女性	0 ~ 74	基準 該当者	540	対象者全員に配布	対象者全員に配布	低体重児対策として、出産前の教育の実施が必要	5
	4	前期高齢者対策	【目的】前期高齢者の健康意識向上 【概要】前期高齢者に季刊誌配布	被保険者 被扶養者	全て	男女	65 ~ 74	全員	178	前期高齢者全員に季刊誌配布。	全員に配布。	健康意識がまだ低い。	4
	4	医療費通知	【目的】医療費通知による健康意識及びコスト意識向上 【概要】事業主の給与明細書配布時に医療費通知配布	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	400	事業主の給与明細書配布時に、医療費通知配布	給与と同時に配布するので、目を通す。		5
	4	ジェネリック通知	【目的】ジェネリック対象者に通知による医療費低減 【概要】対象者にジェネリック通知送付	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	基準 該当者	0	今回、前期高齢者を含む60歳以上の対象者にジェネリック通知を送付。(内作)	前期高齢者前の方にも通知	60歳未満への未通知	1
	4	健康啓蒙	【目的】リーフレット等による健康啓蒙 【概要】新入社員等への健康保険、健康に関する小冊子の配布等による健康啓蒙	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	150	新入社員への健康小冊子配布等		ポピュレーションアプローチほどには、展開できていない。対象者の分析と合った事業の検討	1
	4	柔整点検と適正受診の啓蒙	【目的】柔整医療費の適正化 【概要】レセプト点検及び初診の方への正しい受診の啓蒙書類送付	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	900	柔整レセプト点検と初診の方への正しい受診の啓蒙書類送付	柔整への指導	徹底不足	3

# STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

	4	ホームページ運営	【目的】健康保険組合の運営内容の情報提供 【概要】ホームページを開設し、費用補助や保健事業、制度等の内容を周知。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	800	アクセス数 記録なし	・費用補助等の申請書の掲載。□ ・電話相談先の掲載	健康情報コンテンツなどの内容は、 行っていない。アクセス数の記録し ていないため、利用状況不明	3
疾病 予 防	1	生活習慣病検診 補助（定健時追 加分）	【目的】若年層の生活習慣病、がん等の早期発 見 【概要】定期検診時に追加して実施。	被保険者	全て	男女	18	～	74	全員	21,141	30歳、35歳以上の血液検査 （安衛法+それ以外）、がん検診 （大腸がん35歳以上、胃がん 40歳以上、PSA50歳以上）		被保険者の女性の婦人科健診の 検診	5
	1	歯科検診	【目的】虫歯、歯周病の早期発見早期治療、 口腔衛生意識向上 【概要】外部業者で歯科検診と歯石除去、指 導。3年のサイクルで全事業所を実施する。	被保険者	全て	男女	18	～	74	全員	1,162	□ 25年度本社（対象1460名、受 診者306名、受診率21%）加古 川（対象410名、受診者62名、 受診率15%）□ 26年度宮崎（対象1400名、受 診者84名、受診率6%）名古屋 （対象者1300名、受診者130 名、受診率10%）		全体での受診率が低く、特に工場 の受診率が、低い。受診率の向上 と被扶養者への展開	
	5	電話健康相談ダイ ヤル	【目的】加入者の健康に関する相談、悩み・不 安の解消 【概要】外部委託による電話相談。心のケアも 含め、面談もあり。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	1,200	26年度 健康相談110件、心の 相談40件、面談3件	フリーダイヤル、24時間体制、外部 機関としての安心感	メンタルヘルス対策での利用促進 （加入者への浸透不足）	1
	1	人間ドック補助	【目的】疾病の早期発見、健康への意識向上 【概要】加入者40歳以上へ一律14,000円の 補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	40	～	74	基準 該当 者	6,000	26年度被保険者110名、被扶養 者32名、全体142名		利用者が低い。	1
	1	がん検診補助	【目的】がんの早期発見 【概要】被保険者の女性6,000円補助（乳が ん35歳以上、子宮20歳以上）及び被扶養者 3,000円補助（子宮がん20歳以上、その他が ん40歳以上）対象で、市町村がん検診補助、 郵送がん検診を実施。	被保険者 被扶養者	全て	男女	20	～	74	全員	1,800	H26年度 市町村がん検診140 名、郵送がん検診334名		受診者が少ない。被扶養者の健 康への意識の低さ、受診機会が少 ない。	1
	4	前期高齢者訪問 指導	【目的】前期高齢者の健康維持、医療費低減 【概要】外部委託業者による前期高齢者への 電話または訪問による相談、保健指導の実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	65	～	74	全員	690	H26年度見込 36名		実施率が低く、健康及び医療費の 低減に効果があるか	1
奨 励 育	7	体育奨励補助	【目的】運動などでの健康増進 【概要】特定保健指導ツールや体育イベント開催 補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	0	利用者無し。		情報提供不足	1
所 保 直 養 営	7	直営保養所	【目的】加入者のリフレッシュ 【概要】加入者が低料金で利用可能。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	20,000	H26年度利用者1,200人		部屋稼働率が低い。	1

# STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

その他														
(予 算 措 置 な し)														

## STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

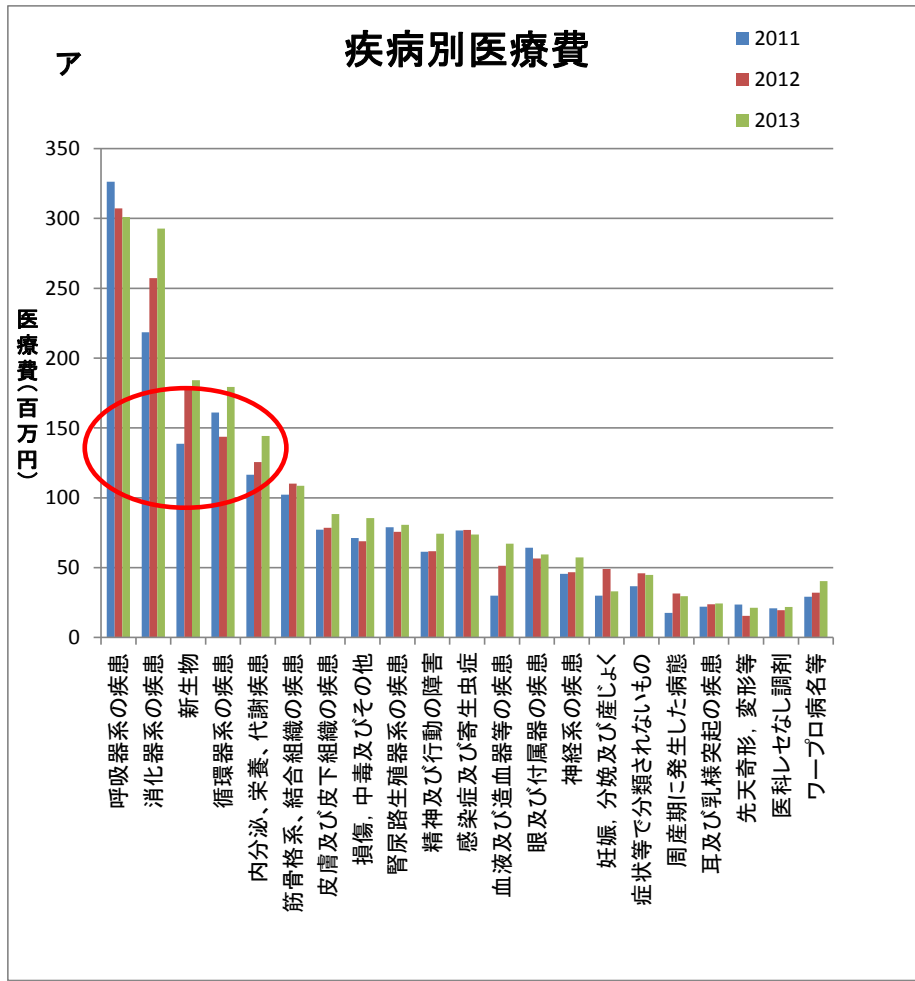
事業主の取組										
事業名	事業の目的および概要	対象者				振り返り			共同実施	
		資格	性別	年齢		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因		
定期健康診断	安衛法に基づく健診	被保険者	男女	18	～	64	実施率：98.2%			有
健康診断事後措置に伴う個別指導	要精密検査、要治療者の検査及び治療結果の把握、生活習慣指導	被保険者	男女	18	～	64	754名に指導実施			無
ストレス診断	各部署ごとのストレス状況のフィードバック	被保険者	男女	18	～	64	実施率：85.6%□			無
ストレス診断後の産業医によるフォロー	ストレス診断でのハイリスク者に対する産業医による面談	被保険者	男女	18	～	64	対象者率：15.2%□ 面談実施率：7.5%			無

注1) 1. 健康診査 2. 健康診査後の通知 3. 保健指導 4. 健康教育 5. 健康相談 6. 訪問指導 7. その他

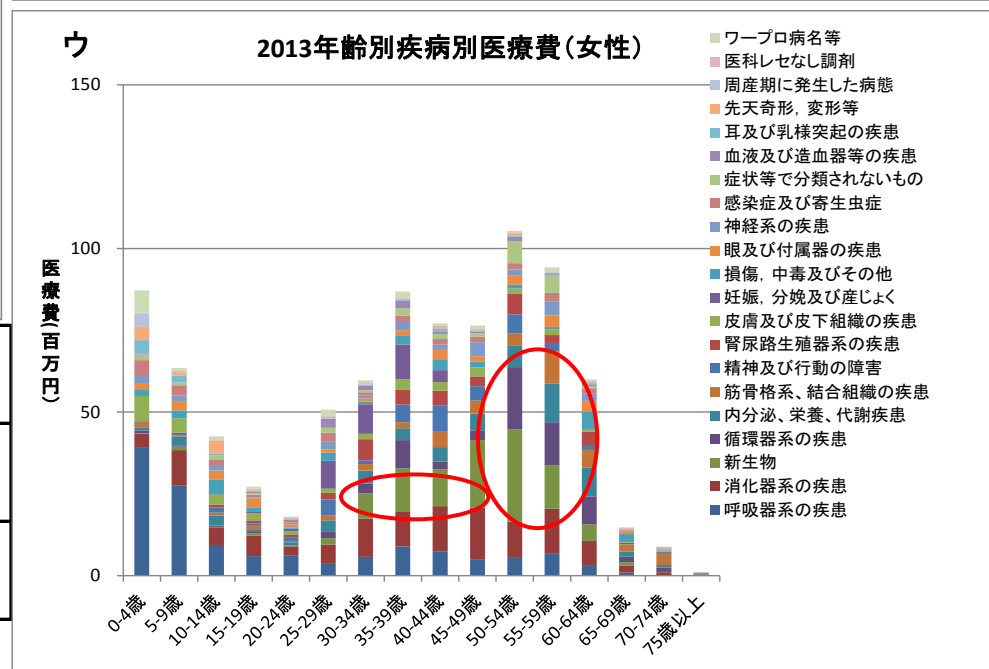
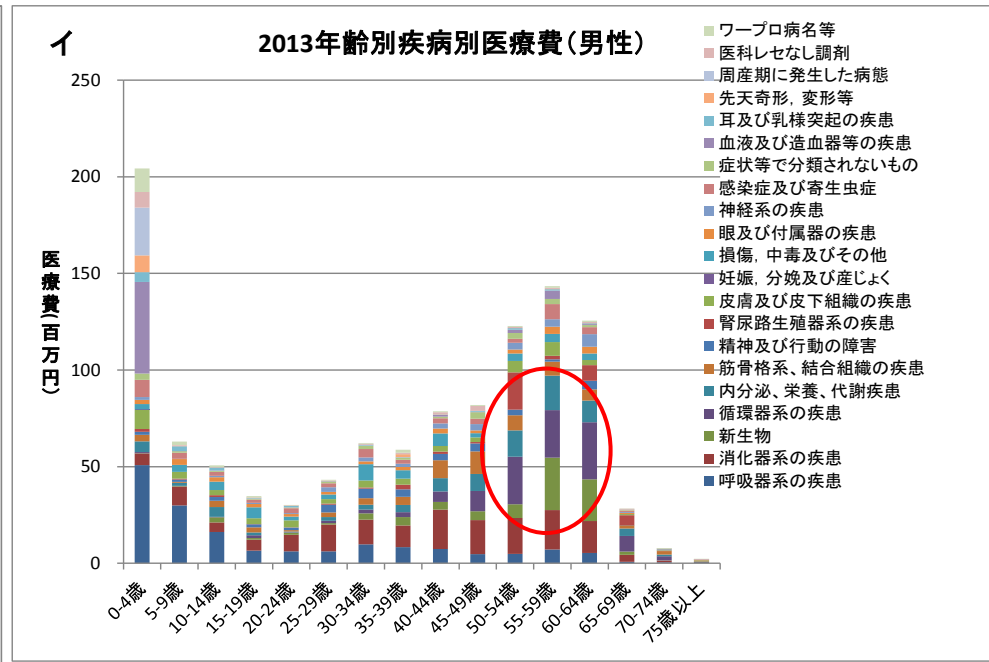
注2) 1：39%以下 2：40%以上 3：60%以上 4：80%以上 5：100%以上

- ・特定健診の受診率では、被保険者は96%（35歳以上で実施）と多いが、被扶養者は、30%弱と少ない。健保では、40歳未満のデータは、入手していない。
- ・特定保健指導では、被保険者は12.9%、被扶養者は0%と非常に少ない。
- ・歯科検診をH25から、再開したが、工場の受診率が10%と少ない。
- ・がん検診は、被保険者は、便潜血、ABC検査、PSA、胸部X線と実施。婦人科健診及び被扶養者については、補助金と郵送がん検診で対応。

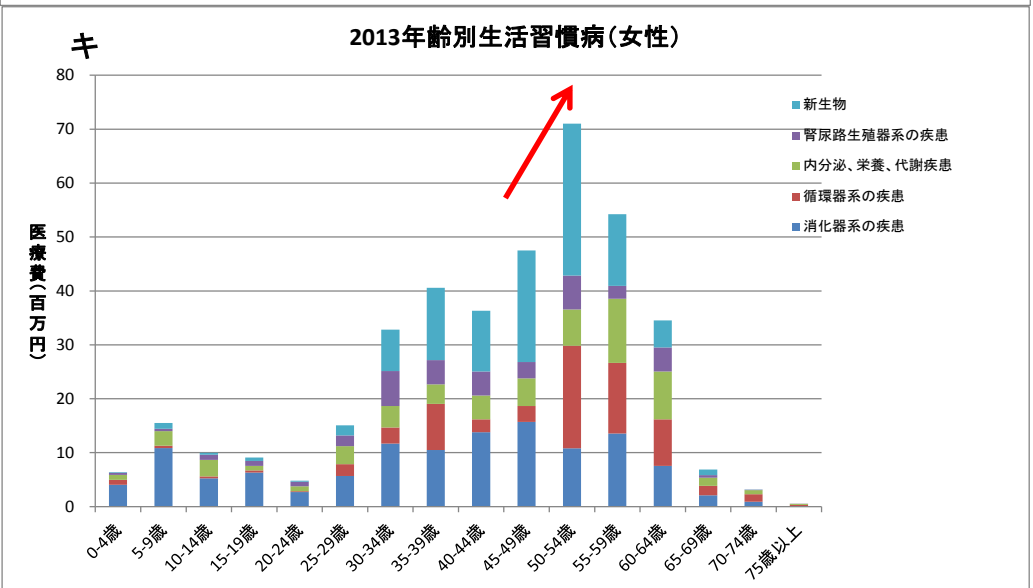
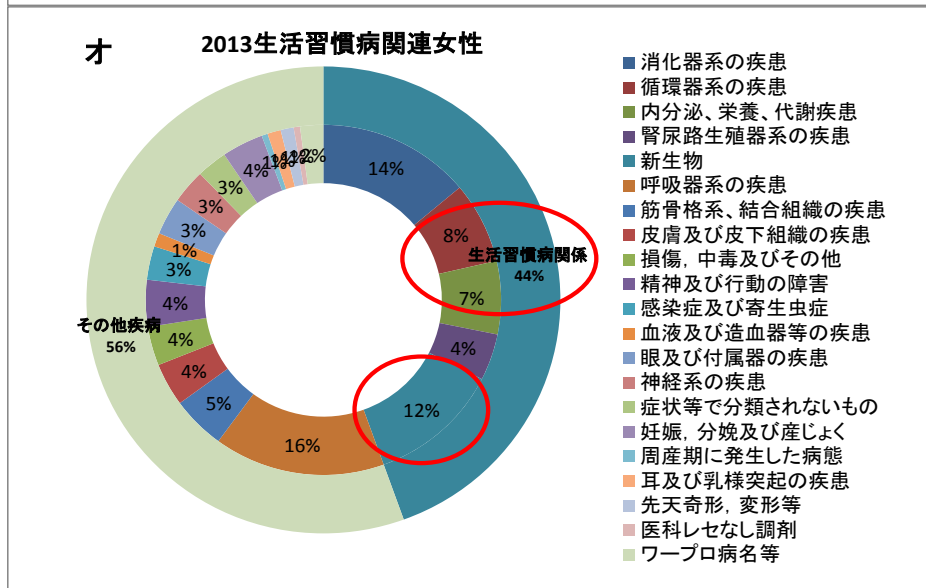
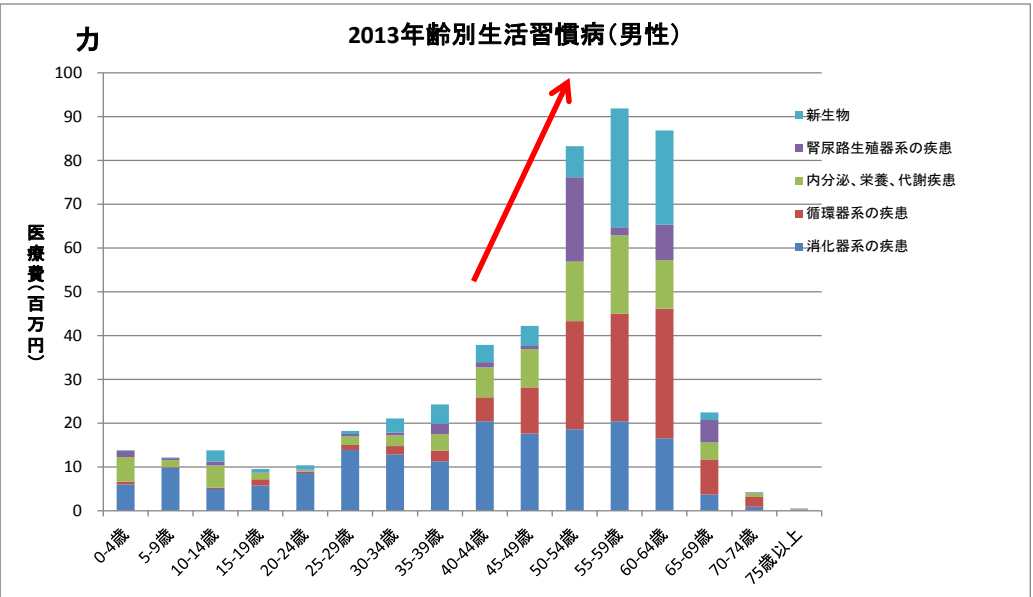
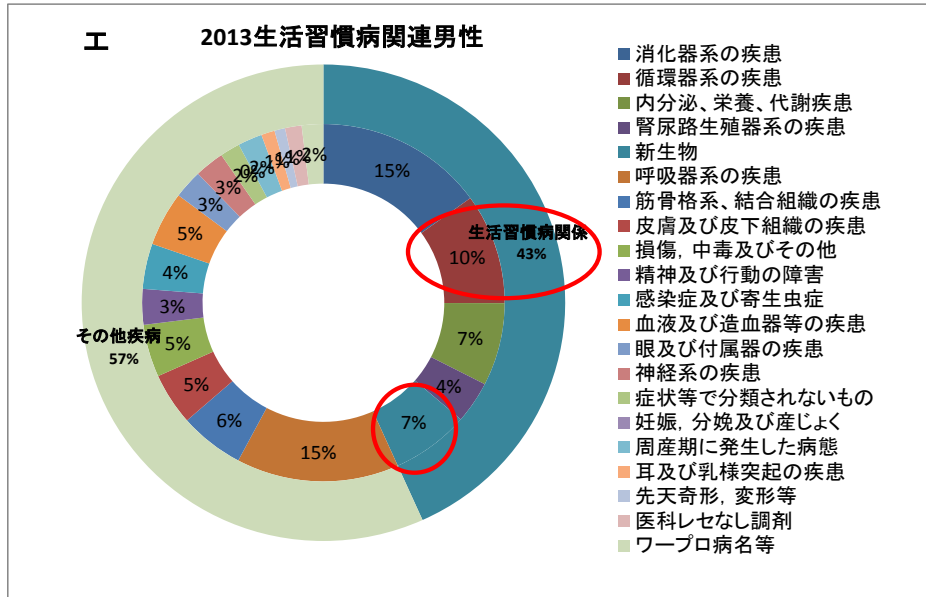
# STEP 1 - 3 (シート1 (医療費分析1))



ア	年々医療費が増加。がん、血液等の高額医療が発生。上位5疾病で、医療費の55%を占める。
イ	男性は、30歳から年齢と共に医療費が増加。50歳から、循環系、内分泌系、新生物が、大きく増加する。男女とも、消化器(歯科)が、25歳から、多い。
ウ	女性は、25歳から分娩以外に新生物が多い。女性も50歳から、循環系、内分泌系、新生物が、大きく増加する。



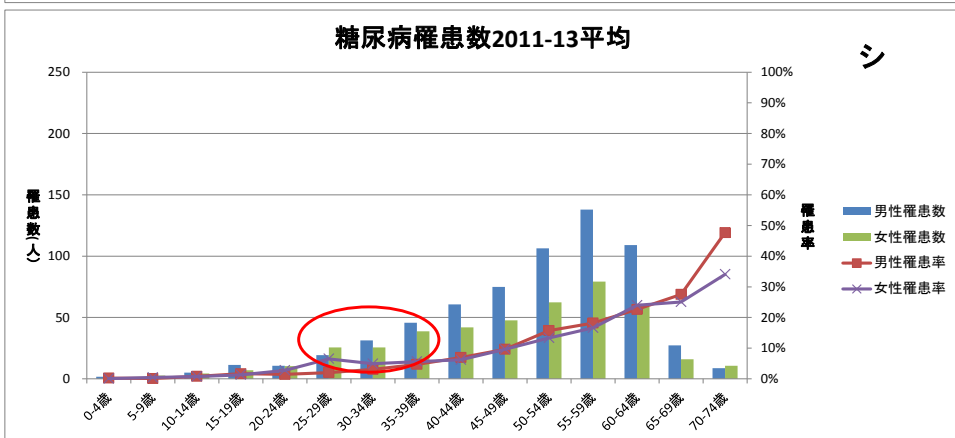
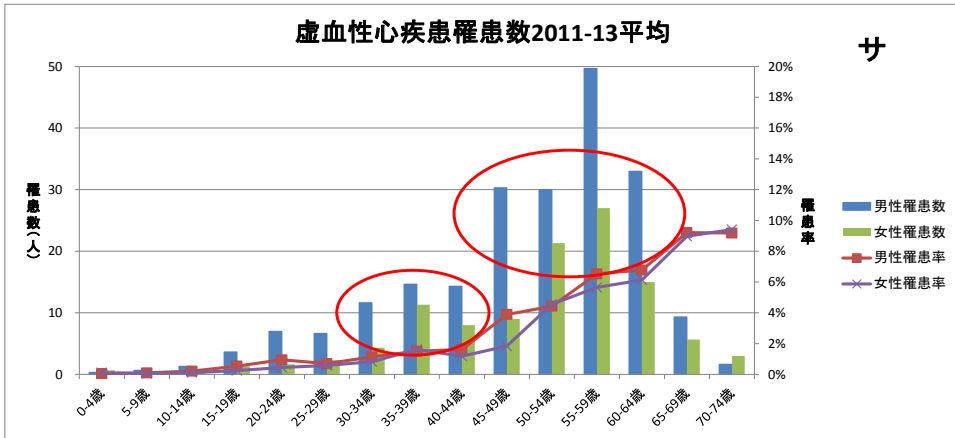
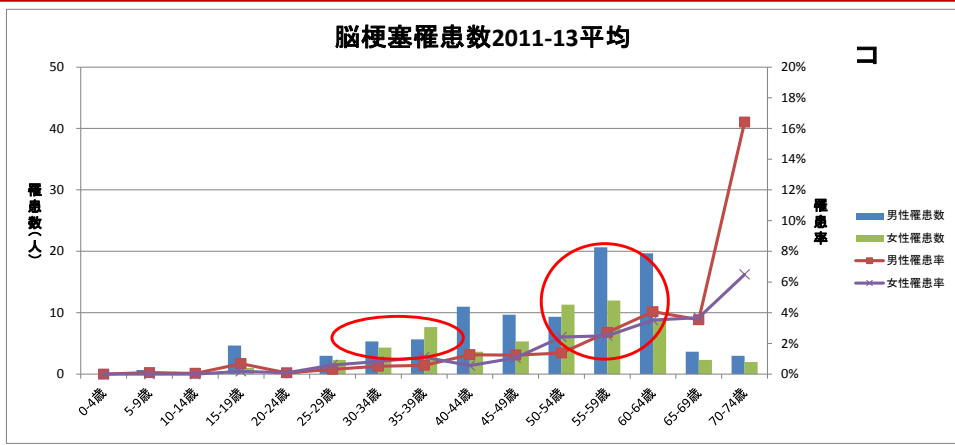
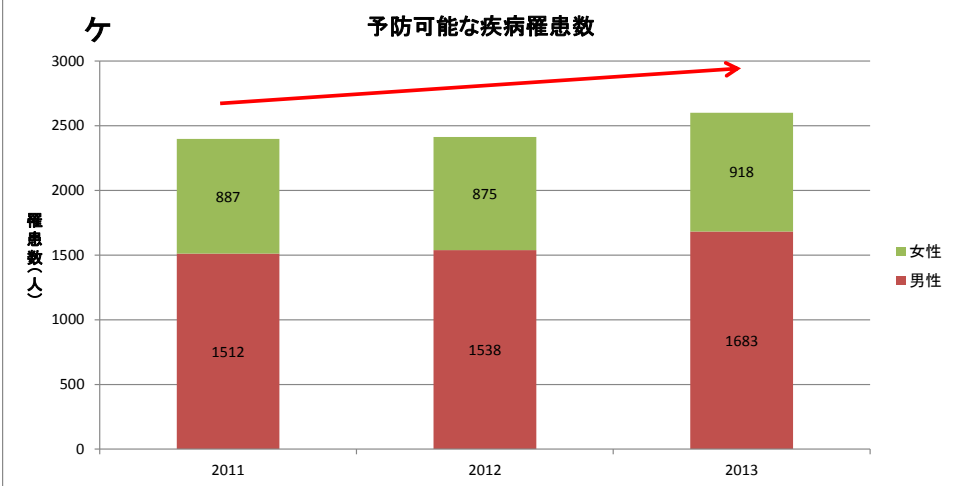
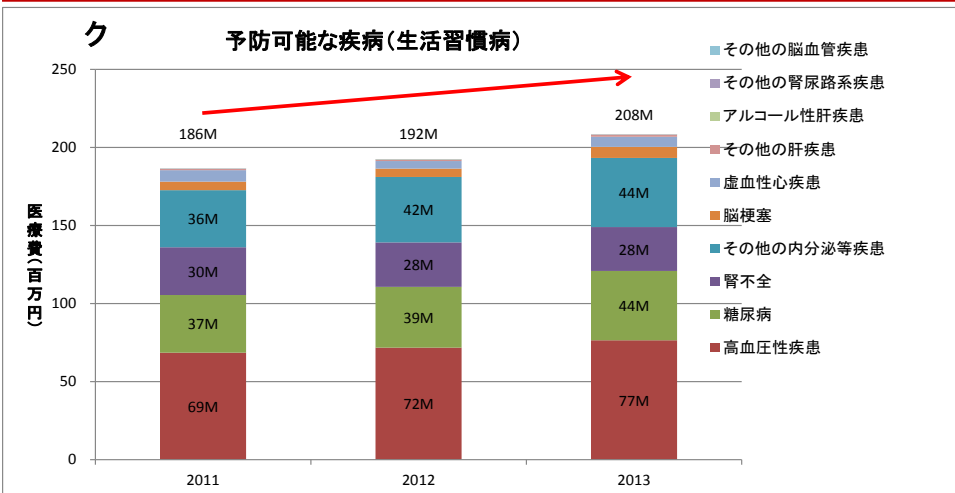
# STEP 1 - 4 (シート2 (医療費分析2))



エ、オ	男女とも、生活習慣病関係の医療費は、44%占めている。男性は、循環器系多く、新生物が少ない。女性は、新生物が多く、循環器系は、少ない。
カ、キ	生活習慣病関係を年齢別にみると、男性は、30歳から年齢と共に、内分泌系、循環器系が増加し、新生物が、55歳以上で増加する。女性は、分娩もあり、内分泌系、腎尿路系、循環器系が25歳から発生し、特に循環器は、50歳から急増する。新生物も多い。

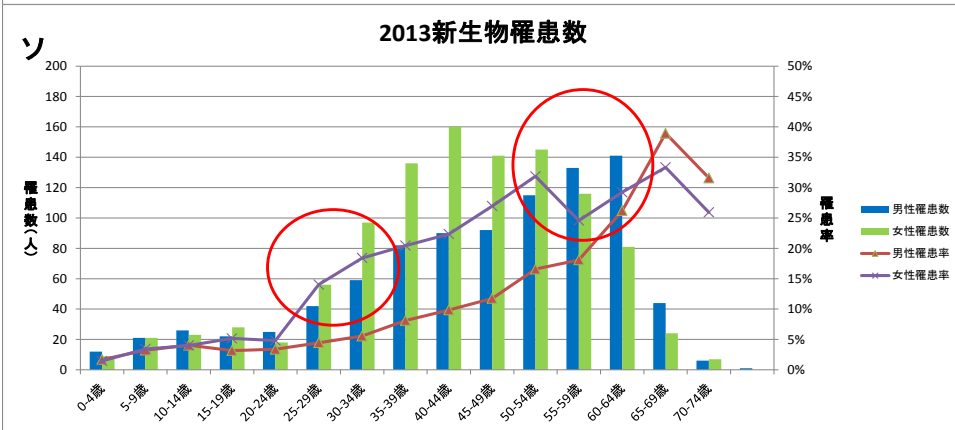
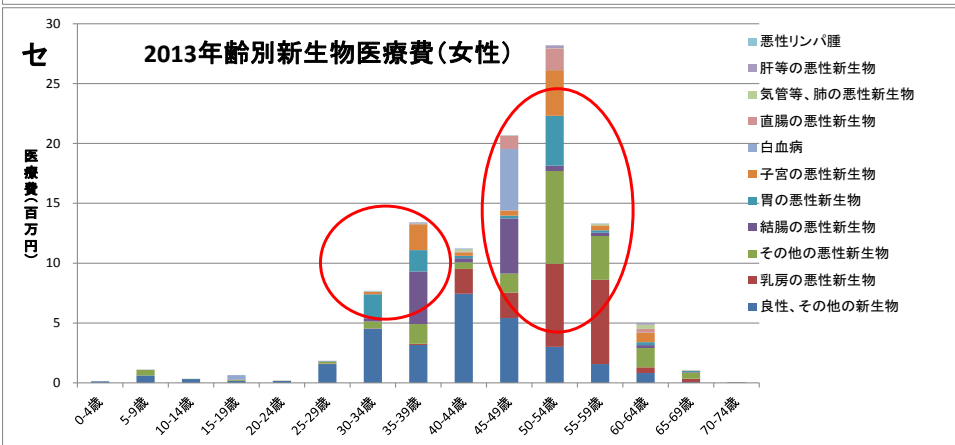
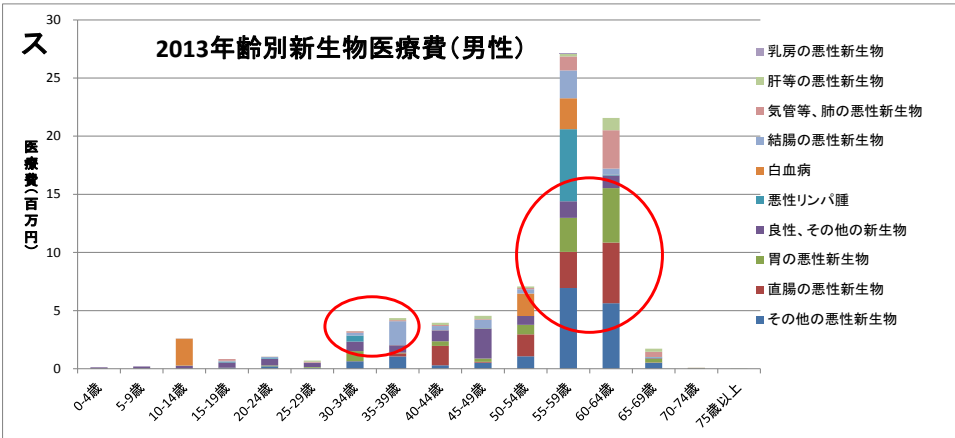


# STEP 1 - 5 (シート3 (医療費分析3))



ク、ケ	生活習慣病で予防可能な疾病では、高血圧、糖尿病、腎不全その他の内分泌がほとんどを占め、罹患数は、年々男女とも増加傾向である。
コ、サ、シ	男性、女性の生活習慣病の罹患年齢を見ると、40歳以上から大きく増加するが、若い年齢(30歳前後)から、発症している。

# STEP 1 - 6 (シート4 (医療費分析4))



タ

血圧分布(2013)

血圧(収縮) (拡張)	血圧レセ有り		血圧レセ無し		合計	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
~129						
~84	206	4.93	2130	50.96	2336	55.89
130~139						
85~89	200	4.78	768	18.37	968	23.16
140~159						
90~99	234	5.60	564	13.49	798	19.09
160~179						
100~109	20	0.48	52	1.24	72	1.72
180~						
110~	2	0.05	4	0.10	6	0.14
合計	662	15.84	3518	84.16	4180	100.00

チ

血糖値分布(2013)

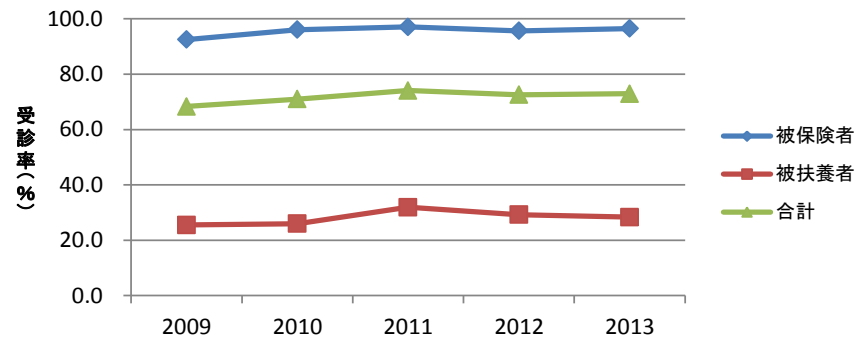
HbA1c 数値	糖尿病レセ有り		糖尿病レセ無し		合計	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
~5.5%	3	0.07	2670	65.86	2673	65.93
5.6~5.9%	11	0.27	949	23.41	960	23.68
6.0~6.4%	21	0.52	202	4.98	223	5.50
6.5~6.8%	30	0.74	48	1.18	78	1.92
6.9~7.3%	23	0.57	17	0.42	40	0.99
7.4~8.3%	32	0.79	9	0.22	41	1.01
8.4~	26	0.64	13	0.32	39	0.96
合計	146	3.60	3908	96.40	4054	100.00

ス、セ、ソ 新生物では、男性は55歳から、急激に増加するが、30歳から胃がん等の罹患数が多くなっている。  
女性でも、45歳から急激に増加するが、30歳から胃がん等の罹患数が多くなっている。  
悪性、良性、疑い等のレセプトを分析する必要がある。

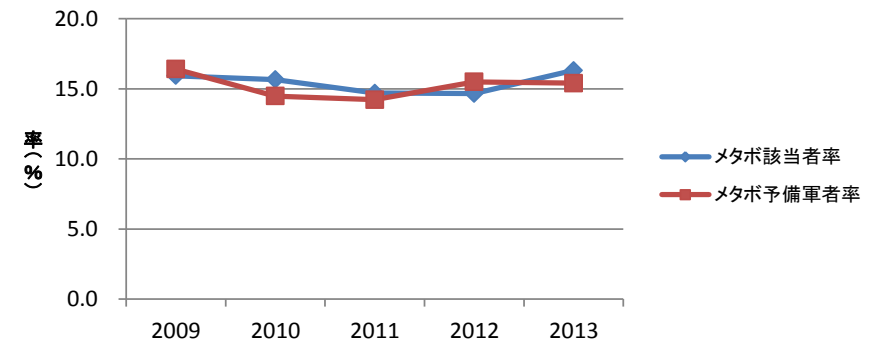
タ、チ 血圧及び血糖値の分布をみると、受診勧奨レベルでも、病院に受診していない可能性のある方がいる。(未受診疑い) また、受診されている方の中で、コントロールがうまくできていない方もいる。

## STEP 1 - 7 (シート5 (医療費分析5))

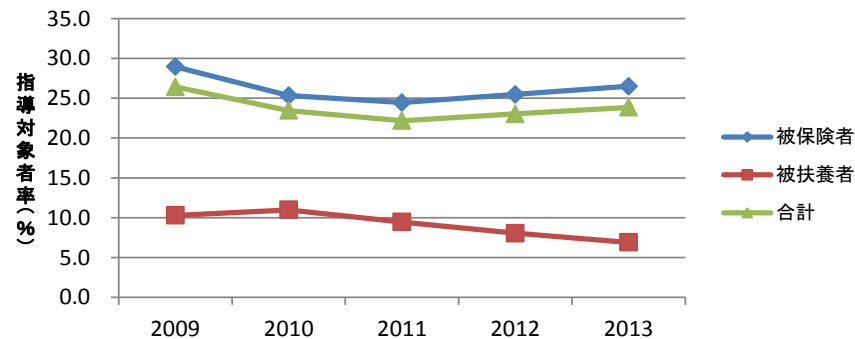
ツ 特定健診受診率



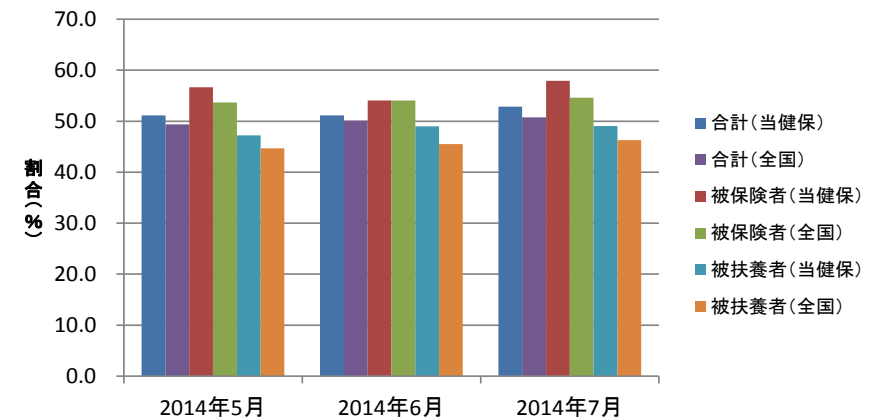
ナ メタボ該当者率



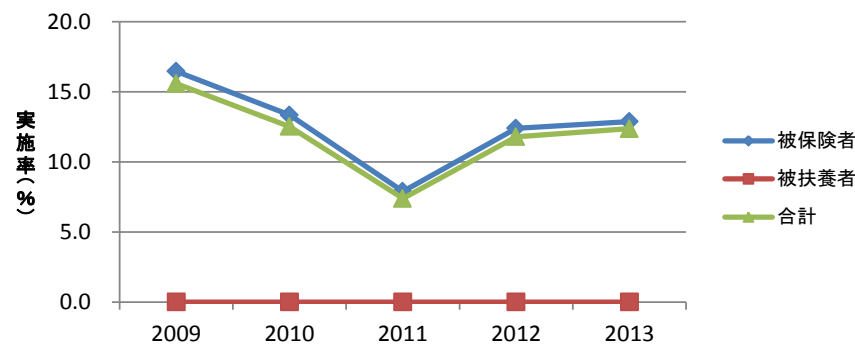
テ 特定健診指導対象者率



ニ ジェネリック使用割合



ト 特定保健指導実施率



ツ	特定健診受診率は、被保険者は96%程で問題ないが、被扶養者の受診率が、30%未満と低迷している。
テ	特定健診指導対象者率は、被保険者では、2011年まで減少傾向であったが、指導実施率の減少していることもあり、2012年から増加傾向である。被扶養者は、減少傾向が続いている。
ト	特定保健指導率は、被保険者も低く、被扶養者では、拒否もあるがゼロである。東北大震災で中断した事業所で減少したが少し戻った。
ナ	メタボ該当者及び予備軍でも、減少傾向からやや増加傾向である。
ニ	ジェネリック使用率は、全国平均より、高い。さらに促進する。

## STEP 2 健康課題の抽出

「全健保組合共通様式」

## 基本分析による現状把握から見える主な健康課題

タチ	血圧及び血糖値の分布をみると、高リスクを含めた受診勧奨レベルの方で、病院への未受診疑いの方やコントロールがうまくできていない方がいる。
ツナ	被扶養者の受診率が低く、特定保健指導が実施されていない。特定保健指導の実施率が低く、指導対象者及びメタボ対象者が増加傾向である。
ニ	ジェネリックの使用率は、全国平均を上回っている。
エカ	男女とも、生活習慣病関連が、44%を占めている。男性は、30歳前後から、年齢と共に増加していく。男女とも、50歳から、急激に増加する。
コシ	男女で、生活習慣病の疾病の罹患数をみると、40歳以上から大きく増加するが、若い年齢(30歳前後)から、増加傾向である。
スソ	新生物では、50歳前後から、罹患数も増え、医療費も大きく増加する。但し、男女とも、30歳から、胃がん等の罹患数が増加している。

## 対策の方向性

保健師の採用検討を進めると共に、事業主側と協働で受診勧奨、特定保健指導等の効率、効果的な仕組み作りを進め、実施していく。

被扶養者の受診率向上の為、巡回健診の新設と共に、啓蒙等に力を入れる。保健師の採用検討を進めるとともに、被扶養者についても受診勧奨や特定保健指導の効率、効果的な仕組みづくりを進める。

更に、ジェネリック通知等を行い、医療費の削減に繋げる。

若い時から、健診を受け、生活習慣病対策をしていく必要がある。健康の重要性、運動、食事等の啓蒙を含めたポピュレーションアプローチを行う必要がある。

26年度から、被保険者については、35歳以上に加え、30歳での血液検査を始めた。特定保健指導は、40歳から実施しているが、年齢を下げた方が必要がある。

26年度から、子宮頸がんの対象年齢を発症年齢に合わせ、20歳以上に見直したが、30歳前後のレセプトを分析し、早期発見の可能性のあるがん検診の対象年齢を見直していく。

## 特徴

## 基本情報

- ・タイヤ、産業品、ゴルフ&テニス製品を製造販売メーカーである。
- ・被保険者の女性比率は、8.8%と少ない。
- ・健保には、医療従事者は、不在。

## 保健事業の実施状況

- ・特定健診の受診率では、被保険者は96%（35歳以上で実施）と多いが、被扶養者は、30%弱と少ない。健保では、40歳未満のデータは、入手していない。
- ・特定保健指導では、被保険者12.9%、被扶養者0%と少ない。
- ・歯科検診をH25から再開したが、工場の受診率が10%と少ない。
- ・がん検診は、被保険者は、便潜血、ABC検査、PSA、胸部X線を実施、婦人科健診及び被扶養者は、補助金と郵送がん検診で対

## 対策検討時に留意すべき点

- ・被保険者は、女性が少ないが、偏った保健事業にならないように、注意する。
- ・計画を進めるうえで、健保の医療従事者不在は、大きいので、採用の検討を進め

- ・被扶養者の受診率を上げ、また特定保健指導を受けてもらえるように進める。婦人科健診の受診率の向上を目指す。
- ・40歳未満のデータも入手し、保健指導等できるようにしていく。
- ・歯科検診、歯周病対策の重要性を理解してもらい、受診率の向上につなげる。
- ・上記の対策を進めるうえで、事業主の理解と協力が重要になるので、十分に説明していくことが必要である。
- ・財政をよく考え、効率よく、効果的に進める必要がある。

## STEP 3 保健事業の実施計画

「全健保組合共通様式」

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					注2) 実施主体	実施計画			目標 (達成時期 : 平成29年度末)		
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム	
<b>職場環境の整備</b>															
特定保健指導事業	7	新規	保健師採用	【目的】保健師の採用による保健事業の推進 【概要】保健師の採用により、特定保健指導や受診勧奨、保健事業の推進を図る。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	3	データヘルス計画の一つで、新規に保健師を採用し、特定保健指導や受診勧奨等の保健事業を進める。	継続	継続		
保健指導宣伝	7	新規	データヘルス分析事業	【目的】データヘルス計画推進に必要な分析と効果的な事業の立案 【概要】必要に応じ、委託業者等に分析を依頼し、既存事業見直しや新規事業を立案していく。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	1	H27の開始後、必要に応じ、分析を行い、効果的な保健事業につなげる。	継続	継続		
疾病予防	5	既存	電話健康相談ダイヤル	【目的】加入者の心のケアも含めた健康に関する相談、悩み、不安の解消 【概要】外部委託による電話相談。心のケアも含め、面談もあり。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	1	既存の実施方法を継続	既存の実施方法を継続	既存の実施方法を継続	対象者に周知徹底	
<b>加入者への意識づけ</b>															
保健指導宣伝	4	既存	機関紙の発行	【目的】健康保険に関する情報及び健康意識の醸成 【概要】機関紙の発行（年2回）春は、自宅郵送、夏は、被保険者に配布し、加入者全員が、見れるように工夫。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	1	既存の方法で実施	既存の方法で実施	既存の方法で実施	対象者に配布	
	4	既存	医療費通知	【目的】医療費通知による健康意識及びコスト意識向上 【概要】事業主の給与明細書配布時に医療費通知配布	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	3	既存の方法で実施	既存の方法で実施	既存の方法で実施	対象者に通知	
	4	既存	ジェネリック通知	【目的】ジェネリック対象者への通知によるコスト意識向上と医療費低減 【概要】対象者にジェネリック通知を送付	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	1	既存の方法で60歳未満にも実施	既存の方法で実施	既存の方法で実施	対象者に通知	ジェネリック使用割合 H29 55%以上
	4	既存	ホームページ運営	【目的】健康保険組合の運営内容の情報提供 【概要】ホームページを開設し、費用補助や保健事業、制度の内容を周知	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	1	アクセス数を管理し、利用状況を調査する。	健康促進ツールなどのプログラム開発と合わせて、新しい情報発信ツールとして検討する。	導入	役に立つ情報の発信	

## STEP 3 保健事業の実施計画

「全健保組合共通様式」

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					注2) 実施主体	実施計画			目標 (達成時期 : 平成29年度末)	
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム
( 予算措置なし )	4	新規 健康教室	【目的】健康意識の啓蒙 【概要】保健師等の健康教室、健康講話等の開催による健康意識向上	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	3	健保保健師等による健康教室、健康講話開催の検討、実施。	検討、実施。	検討、実施。		
個別の事業														
特定健康診査事業	1	既存 (法定) 特定健診	【目的】被扶養者の生活習慣病の予防 【概要】4月に対象者全員に受診案内と受診券を送付。新規に巡回健診を追加し、受診率向上を図る。	被扶養者	全て	男女	40 ~ 74	全員	1	従来の集合契約に巡回健診を新規に追加し、受診率向上を図る。その他追加策検討。	H27の結果を受け、改善検討。	H28の結果を受け、改善検討。	新規巡回健診含めた案内の徹底 (初回及び未受診者再通知 対象者100%)	受診率 H29 50%
特定保健指導事業	3	既存 (法定) 特定保健指導	【目的】特定保健指導によるメタボリックシンドローム対象者の減少 【概要】事業主 (産業医、保健師)、健保 (新規採用保健師) 及び外部委託業者による特定保健指導の実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ~ 74	基準対象者	3	保健師採用により、特定保健指導率向上と事業主との共同による保健指導の効率的な仕組みを作る。被扶養者への保健指導の仕組みを作る。H27 30%	H27での結果をフォローし、改善。	H28での結果をフォローし、改善。	対象者への特定保健指導案内 100%実施。	特定保健指導率 H29 40%
保健指導宣伝	4	既存 乳幼児保健指導	【目的】出産された方のための乳幼児指導 【概要】第1子を出産された方に、育児指導書を配布	被扶養者	全て	女性	0 ~ 74	基準対象者	1	既存の方法で実施。	既存の方法で実施。	既存の方法で実施。	対象者全員に配布。	
	4	既存 前期高齢者対策	【目的】前期高齢者の健康意識向上 【概要】前期高齢者に季刊誌配布	被保険者 被扶養者	全て	男女	65 ~ 74	全員	1	既存の方法で実施。	既存の方法で実施。	既存の方法で実施。	対象者全員に配布。	
	4	既存 健康啓蒙	【目的】リーフレット等による健康啓蒙 【概要】新入社員を含めた対象者等への健康保険、健康に関する小冊子等の配布による健康意識向上	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	3	新入社員を含めた対象者等への健康保険、健康に関する小冊子、リーフレット等の配布。	継続、検討、実施。	継続、検討、実施。		
	4	既存 柔整点検と適正受診の啓蒙	【目的】柔整医療費の適正化 【概要】レセプト点検及び初診の方への正しい受診の啓蒙書類送付	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	1	既存の方法で実施。	既存の方法で実施。	既存の方法で実施。	対象者全員への配布の徹底。	
	6	既存 前期高齢者訪問指導	【目的】前期高齢者の健康維持、医療費減少 【概要】外部委託業者による前期高齢者への、電話または訪問による相談、保健指導	被保険者 被扶養者	全て	男女	65 ~ 74	全員	1	既存の方法で実施。	既存の方法で実施。	既存の方法で実施。	対象者に案内送付 (100%)	訪問実績 H29 20%
4	既存 禁煙啓蒙	【目的】禁煙活動の支援 【概要】事業主の禁煙活動への支援	被保険者	全て	男女	18 ~ 74	基準対象者	2	禁煙活動支援 (禁煙治療の啓蒙)	禁煙活動支援 (禁煙治療の啓蒙)	禁煙活動支援 (禁煙治療の啓蒙)			

## STEP 3 保健事業の実施計画

「全健保組合共通様式」

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					注2) 実施主体	実施計画			目標 (達成時期 : 平成29年度末)				
				資格	対象事業所	性別	年齢			対象者	平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム		
疾病予防	1	既存	生活習慣病補助 (定健時追加)	【目的】若年層の生活習慣病、がん等の早期発見 【概要】定期検診時に追加して実施。30歳、35歳以上の血液検査 (安衛法以外)、がん検診 (大腸がん35歳以上、胃がん40歳以上、PSA50歳以上) □	被保険者	全て	男女	18	~	74	全員	3	既存の方法で実施。検討課題として、被保険者女性の婦人科健診及びがん対象年齢等の適正化。	既存の方法で実施。検討課題として、被保険者女性の婦人科健診及びがん対象年齢等の適正化。	既存の方法で実施。検討課題として、被保険者女性の婦人科健診及びがん対象年齢等の適正化。□	検討課題の実施	
	1	既存	がん検診補助	【目的】がんの早期発見 【概要】がん検診6,000円補助、被保険者女性 (乳がん35歳以上、子宮頸がん20歳以上) 及び被扶養者男女 (子宮頸がん20歳以上、その他のがん検診40歳以上) 対象で、市町村がん検診、巡回健診、郵送がん検診を実施。	被保険者 被扶養者	全て	男女	20	~	74	全員	1	既存の方法で実施。検討課題として、対象年齢の適正化。	既存の方法で実施。検討課題として、対象年齢の適正化。	既存の方法で実施。検討課題として、対象年齢の適正化。	検討課題の実施	
	1	既存	歯科検診	【目的】虫歯、歯周病の早期発見早期治療、口腔衛生意識向上 【概要】外部委託業者で歯科検診と歯石除去、指導。3年サイクルで全事業所を実施する。	被保険者	全て	男女	18	~	74	全員	3	既存の方法で実施。課題として、受診率が、工場の事業所で低い (10%前後) のので、アップ方法検討。	既存の方法で実施。課題として、受診率が、工場の事業所で低いので、アップ方法検討。	既存の方法で実施。課題として、受診率が、工場の事業所で低いので、アップ方法検討。	対象者に受診呼びかけ 100%	工場での受診率 H29 20%以上
	1	既存	人間ドック補助	【目的】疾病の早期発見、健康への意識向上 【概要】加入者40歳以上へ一律14,000円の補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	40	~	74	全員	3	既存の方法で実施。検討課題として、事業主と共同で、節目年齢人間ドック (被保険者とその被扶養者) の全額補助を検討し、その被扶養者の特定健診受診率の向上を図る。	既存方法で実施。検討課題の実施。	既存方法で実施。検討課題の実施。	節目年齢の人間ドック受診率 H29 90%以上	扶養者特定健診受診率 H29 50%
	3	新規	重症化予防	【目的】生活習慣病の重症化を防ぐ 【概要】生活習慣病で健診結果より、医療受診が必要であるのに、未受診な方及び受診しているが、コントロールが悪い方への、受診勧奨やアドバイスを行う。	被保険者 被扶養者	全て	男女	18	~	74	全員	3	事業主の医療従事者及び健保の保健師で共同で、生活習慣病の方の重症化を防ぐための受診勧奨やアドバイス等を効果的、効率的に行う仕組みづくりの検討。	一部実施し、結果を受け、改善。	全面実施。	対象者への連絡100%	未受診対象者の医療受診 H29 50%以上
体育奨励	4	新規	健康促進ツール開発	【目的】加入者の健康づくり 【概要】ウォーキング等の運動、食事等の健康づくりのためのプログラムの開発と利用促進	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	~	74	全員	3		事業主と共同でウォーキング等の運動、食事等の健康づくりのためのプログラム開発及び運営方法の検討。	実施。	被保険者、被扶養者に参加呼びかけ 100%	参加率 30%以上
	4	既存	体育奨励	【目的】体育奨励 【概要】特定保健指導ツール、イベント等への補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	~	74	全員	2	既存の方法で実施。	既存の方法で実施	既存の方法で実施		

注1) 1. 健康診査 2. 健康診査後の通知 3. 保健指導 4. 健康教育 5. 健康相談 6. 訪問指導 7. その他

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業